

26 医療安全管理部

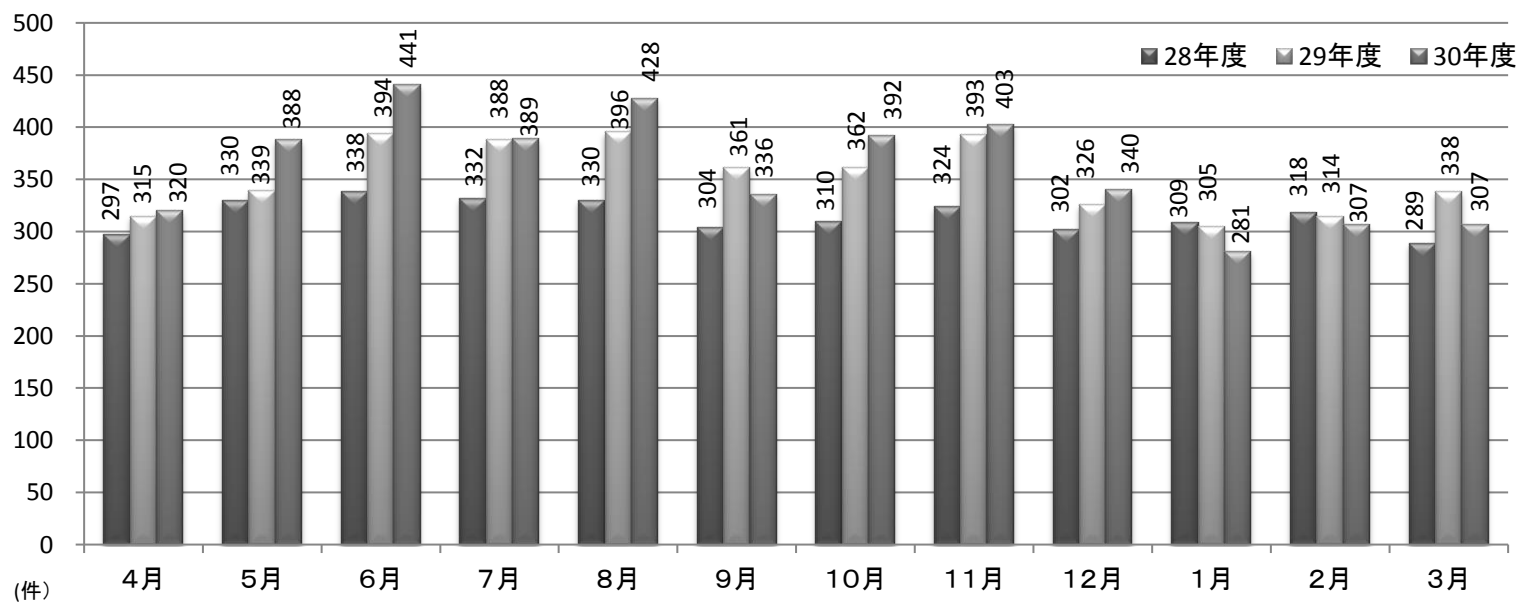


医療安全管理部では、医療事故防止のためのマニュアル作成、事故対応、事故報告やインシデント報告の分析と改善策の実施、医療事故情報の提供などの業務を行なっている。

30年度のインシデント報告件数は、昨年から101件増加の4,332件であった。年々増加しているが、当院の規模ではインシデント件数は4,000～4,500件が望ましいとのことであり、より一層の報告奨励が必要である。報告内容は、例年同様、処方・与薬に関するものが最も多く、次いで療養上の世話・療養生活の場面に関するもの、ドレーン・チューブ類の使用管理が多くなっている。処方・与薬関係のインシデントは手順の省略・不遵守（確認行動の省略・未実施）により起こっているのが大多数である。基本に基づいたマニュアルの徹底の継続的な指導および『相互確認』の重要性及びその徹底を継続的に指導していく必要がある。医師からの報告件数は、毎年全体の10%を目標にしているものの5%にとどまっている。今後も関連部署から報告時、医師の関与があればインシデント入力等を促すなど、医師からの報告件数増加への取組みを強化し、さらに研修医の会議参加・医学生の院内ラウンド参加も継続強化していく。

また、医療事故調査制度や、特定機能病院の要件見直し等に対応し、院内死亡患者届出、Morbidity & Mortalityカンファレンス開催等に取り組んでおり今後も推進していく。医療安全管理部は、各部署の業務が円滑に行えるよう支援できる部門でありたいと考え、職員に身近に感じてもらえる部署であるように努めていきたいと考えている。

26-1 年度別・月別インシデント報告件数の推移



26-2 年度別・内容分類別インシデント報告件数

(件)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年度 構成比率(%)
処方・与薬	1,090	1,156	1,253	1,420	1,431	33.0
ドレーン・チューブ類の使用・管理	720	657	697	722	858	19.8
療養上の世話・療養生活の場面	772	771	769	802	899	20.8
検査	362	389	372	435	395	9.1
診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目	256	231	294	353	225	5.2
医療機器等の使用・管理	111	151	165	142	184	4.2
輸血	27	27	20	39	33	0.8
その他	116	263	213	318	307	7.1
合計	3,454	3,645	3,783	4,231	4,332	100.0

※30年度より項目変更あり